

S-AIT Library Administration Tool

取扱説明書 Page 2

JP

Operating Instructions Page 17

GB

CSM-20S

目次

概要.....	3
Administration Tool ができること	3
ネットワークに接続する	4
ネットワークケーブルを接続する.....	4
本機の IP アドレス情報を取得する	4
固定の IP アドレスを設定するには.....	5
ブラウザで本機にアクセスする	6
Administration Tool を操作する.....	8
[情報] メニュー.....	9
リビジョン	9
インベントリ	9
[メンテナンス] メニュー.....	10
使用回数.....	10
エラーカウント	10
センサー	11
エラーログ	11
ファームウェア	12
[セットアップ] メニュー.....	13
各種設定.....	13
SCSI ID 設定	14
パスワード設定	15

商標について

- Sony、Advanced Intelligent Tape、Super Advanced Intelligent Tape は日本およびその他の国におけるソニー株式会社の登録商標または商標です。
- その他、本書に記載されている製品名は各社の登録商標または商標です。

概要

「S-AIT ライブラリー Administration Tool」では、ブラウザを使って、本機の設定をしたり、ライブラリーやドライブの情報の閲覧などが行えます。

メモ

ブラウザから本機の設定や情報の閲覧を行うには、コンピューターにブラウザソフトウェアがインストールされている必要があります。本機に対応しているオペレーティングシステムとブラウザは、以下のとおりです。

オペレーティングシステム：

Microsoft Windows 2000、Windows XP

推奨ブラウザ： Internet Explorer 6.x

プラグイン： Java Runtime Environment (JRE)

Java Plug-in 1.4.2 以上

コンピューターディスプレイ解像度 (推奨)：

1024 × 768 ピクセル

JP

Administration Tool でできること

「Administration Tool」には、[情報]、[メンテナンス]、[セットアップ] メニューがあり、以下のことが行えます。

[情報] メニュー

- ・ リビジョン： ライブラリーやドライブの機種名、ファームウェアのバージョンなどが確認できます。
- ・ インベントリ： 本機内のメディアの有無やバーコード情報が確認できます。

[メンテナンス] メニュー

- ・ 使用回数： 各メカ部の寿命管理データ (使用回数) が確認できます。
- ・ エラーカウント： 各メカ部のエラー発生回数を確認できます。
- ・ センサー： 各センサーの状態を確認できます。
- ・ エラーログ： エラー発生時のログデータを確認できます。
- ・ ファームウェア： ライブラリーのファームウェアを更新できます。

[セットアップ] メニュー

- ・ 各種設定： バーコードリーダーの有効 / 無効を設定できます。
- ・ SCSI ID： ライブラリーおよびドライブの SCSI ID の表示や設定内容を変更できます。
- ・ パスワード： Administration Tool および本機の USER モードのログインパスワード (共通) を変更できます。

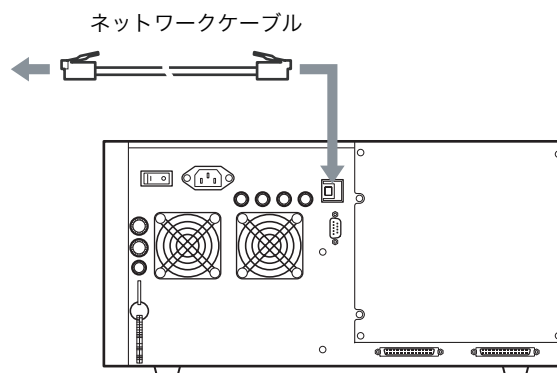
ネットワークに接続する

はじめに、以下の手順で本機をネットワークに接続します。

- ・ ネットワークケーブルを接続する
- ・ 本機の IP Address 情報を取得する
- ・ ブラウザで本機にアクセスする

ネットワークケーブルを接続する

- 1 ネットワークケーブルを、本機の LAN コネクターとハブに接続する。



- 2 本機の電源を入れる。

本機の IP アドレス情報を取得する

- 1 Digi International のホームページから、Digi Connect ME® の Utility をダウンロードする。
- 2 製品サポートの以下の URL にアクセスする。
<http://www.digi.com/support/>
- 3 「Select Your Product」で、以下のように選択し、[Submit] をクリックする。

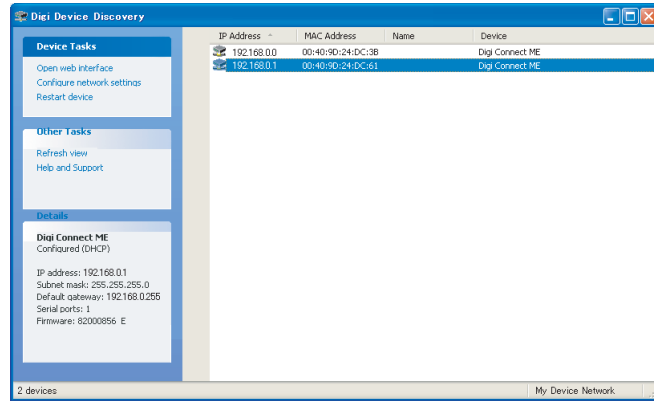
「Supported Operating Systems」は、Windows であれば種類は問いません。

Product List: Digi Connect ME
Supported Operating Systems: Microsoft Windows XXX
- 4 画面が切り替わったら、「Diagnostics, Utilities and MIBs」の「Device Discovery Utility for Windows」をクリックし、「Digi Device Discovery」をダウンロードする。

5 「Digi Device Discovery」を実行する。

「Digi Device Discovery」が起動し、ネットワークに接続されている Digi Connect ME を搭載したハードウェアの一覧が取得されます。

「Digi Device Discovery」画面に複数のハードウェアが表示されている場合は、MAC アドレスで本機を識別してください。



6 本機の MAC アドレスを確認し、USER モードの [INFORMATION] – [NETWORK] を実行する。

本機の液晶ディスプレイに MAC アドレスが表示されます。

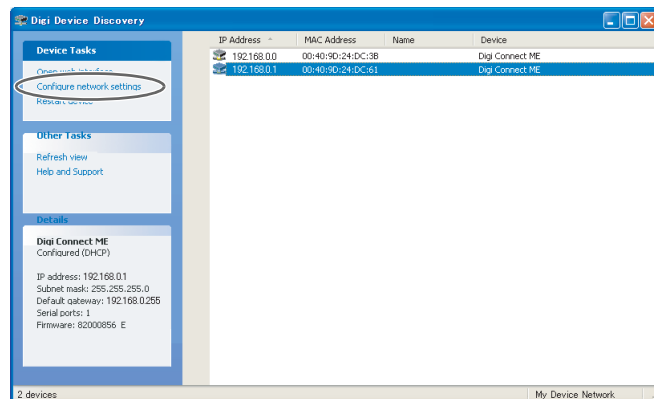
MAC ADDRESS
00409D24DC61

「Digi Device Discovery」画面で、本機の MAC アドレスに対応している IP アドレスが本機の IP アドレスになります。

また、デフォルトでは DHCP が有効になっています。固定の IP アドレスを使用する場合は、「固定の IP アドレスを設定するには」(5 ページ)を参照してください。

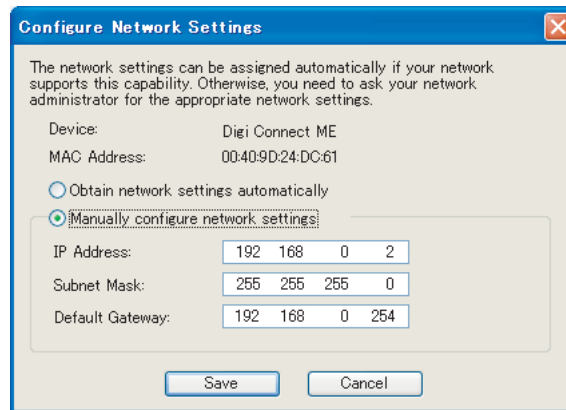
固定の IP アドレスを設定するには

1 「Digi Device Discovery」画面で本機を選択し、[Device Tasks] の [Configure network settings] をクリックする。



「Configure Network Settings」画面が表示されます。

- 2 [Manually configure network settings] を選択し、各項目を入力して、[Save] をクリックする。

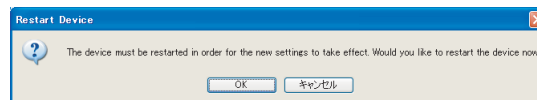


メモ

変更を中止するときは、[Cancel] をクリックします。

確認のメッセージが表示されます。

- 3 [OK] をクリックする。



メモ

変更を中止するときは、[キャンセル] をクリックします。

IP アドレスの変更が完了しました。

ブラウザで本機にアクセスする

ブラウザから本機にアクセスし、Administration Tool にログインします。

- 1 ブラウザのアドレス欄に、「http://XXX.XXX.XXX.XXX/」と入力する。

「XXX.XXX.XXX.XXX」には、本機の IP アドレスを入力します。

(例) http://192.168.0.1/

ログイン画面が表示されます。

2 ユーザー名とパスワードを入力し、[送信] をクリックする。



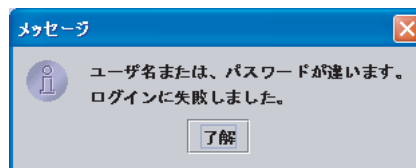
メモ

- ・ユーザー名は「root」（固定）です。変更することはできません。
- ・パスワードは3文字の半角数字です。
- ・このパスワードは、本機のUSERモードのパスワードと共通です。本機またはAdministration Toolでパスワードを変更すると、もう一方も同期して変更されます。
- ・デフォルトのパスワードについては、本機の取扱説明書を参照してください。
- ・入力の途中で「リセット」をクリックすると、入力した文字がすべてクリアされます。

ユーザー名とパスワードが認証されると、Administration Toolにログインします。

メモ

間違ったパスワードを入力したときは、以下の画面が表示されます。「了解」をクリックし、正しいパスワードを入力し直してください。



Administration Tool を操作する

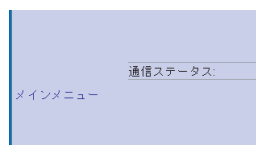
Administration Tool にログインすると、以下のメインメニューが表示されます。

- ・ [情報] メニュー (9 ページ)
- ・ [メンテナンス] メニュー (10 ページ)
- ・ [セットアップ] メニュー (13 ページ)



メモ

- ・ 各画面右上の [Japanese] / [English] をクリックすると、表示言語を変更できます。
- ・ 各画面からメインメニューに戻るときは、画面左下の [メインメニュー] をクリックします。



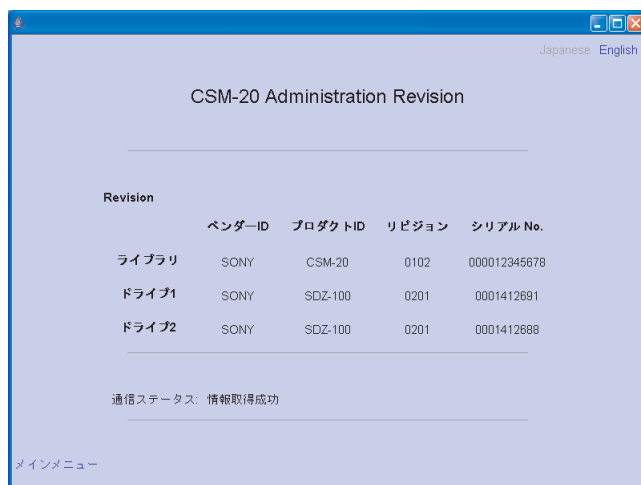
[情報] メニュー

[情報] メニューには、以下の項目があります。

- ・ リビジョン (9 ページ)
- ・ インベントリ (9 ページ)

リビジョン

ライブラリーやドライブの Vendor ID、Product ID、ファームウェアのリビジョン、製品シリアル番号を表示します。



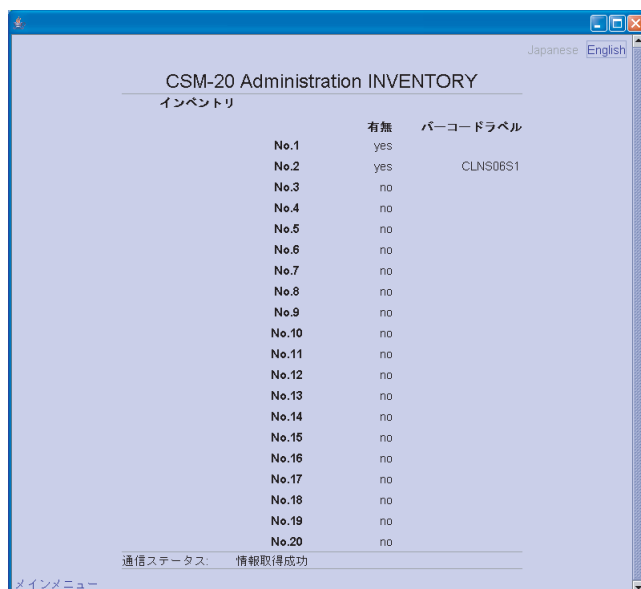
Revision	ベンダーID	プロダクトID	リビジョン	シリアル No.
ライブラリ	SONY	CSM-20	0102	000012345678
ドライブ1	SONY	SDZ-100	0201	0001412691
ドライブ2	SONY	SDZ-100	0201	0001412688

通信ステータス: 情報取得成功

メインメニュー

インベントリ

本機内のメディアの有無や、各スロット内のメディアのバーコード情報を表示します。



No.	有無	バーコードラベル
No.1	yes	
No.2	yes	CLNS06S1
No.3	no	
No.4	no	
No.5	no	
No.6	no	
No.7	no	
No.8	no	
No.9	no	
No.10	no	
No.11	no	
No.12	no	
No.13	no	
No.14	no	
No.15	no	
No.16	no	
No.17	no	
No.18	no	
No.19	no	
No.20	no	

通信ステータス: 情報取得成功

メインメニュー

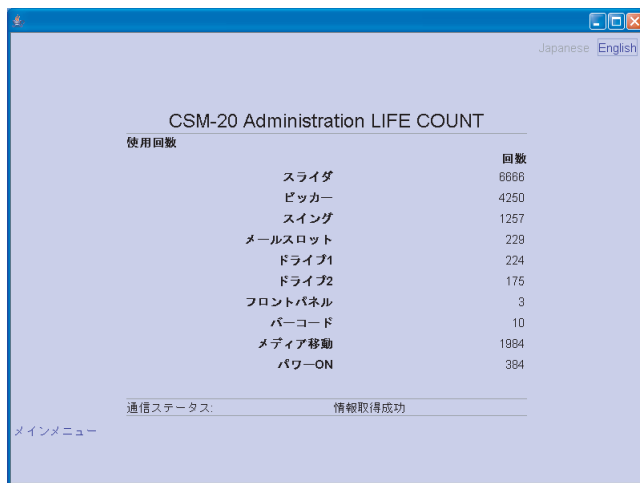
[メンテナンス] メニュー

[メンテナンス] メニューには、以下の項目があります。

- ・ 使用回数 (10 ページ)
- ・ エラーカウント (10 ページ)
- ・ センサー (11 ページ)
- ・ エラーログ (11 ページ)
- ・ ファームウェア (12 ページ)

使用回数

本機の各メカ部の寿命管理データ (使用回数) を表示します。

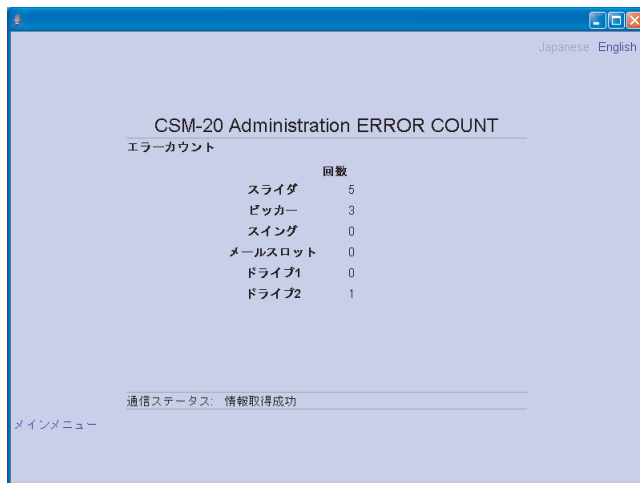


The screenshot shows a window titled "CSM-20 Administration LIFE COUNT" with a language selector for "Japanese" and "English". The main content is a table of usage counts for various components. At the bottom, it displays "通信ステータス: 情報取得成功" and a "メインメニュー" button.

使用回数	回数
スライダ	6666
ピッカー	4250
スイング	1257
メールスロット	229
ドライブ1	224
ドライブ2	175
フロントパネル	3
バーコード	10
メディア移動	1984
パワーON	384

エラーカウント

本機の各メカ部のエラー回数を表示します。

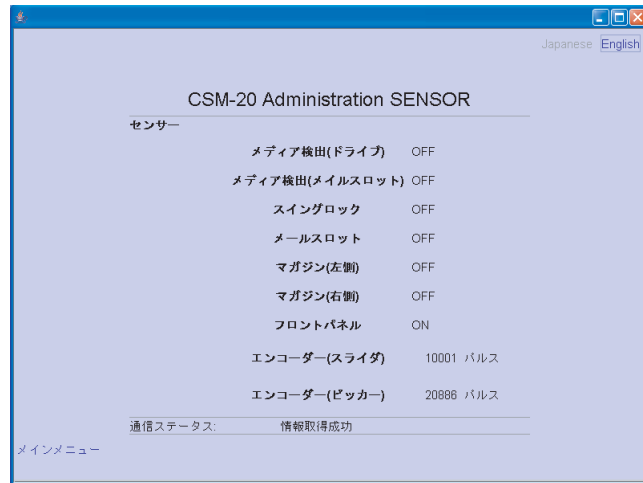


The screenshot shows a window titled "CSM-20 Administration ERROR COUNT" with a language selector for "Japanese" and "English". The main content is a table of error counts for various components. At the bottom, it displays "通信ステータス: 情報取得成功" and a "メインメニュー" button.

エラーカウント	回数
スライダ	5
ピッカー	3
スイング	0
メールスロット	0
ドライブ1	0
ドライブ2	1

センサー

本機の各センサーの状態を表示します。



エラーログ

本機の最新のエラーログを 100 件まで表示します。

1 画面につき 10 件まで表示されます。エラーは No.1 が最新で、No.100 が最古となります。

[次へ] をクリックすると次の画面が表示され、[戻る] をクリックすると前の画面に戻ります。



画面の見かた

No.1

AA/BB XXXX

AA: Additional Sense Code (SCSI の ASC と同一です)

BB: Additional Sense Code Qualifier (SCSI の ASCQ と同一です)

エラーの内容については、本機の取扱説明書の「その他」の「エラーコード一覧」を参照してください。

ファームウェア

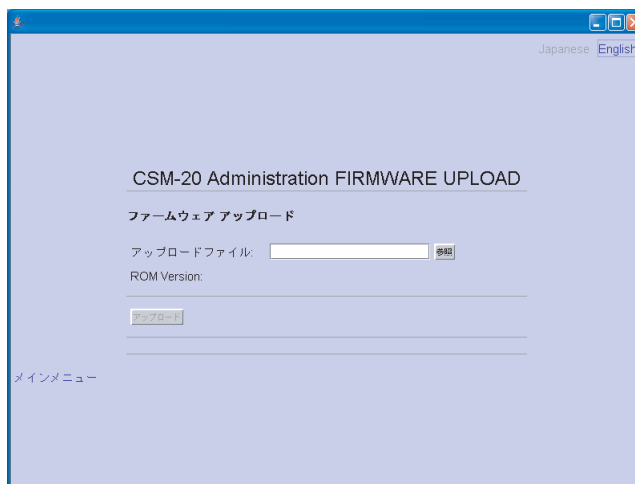
ライブラリーのファームウェアを更新できます。

メモ

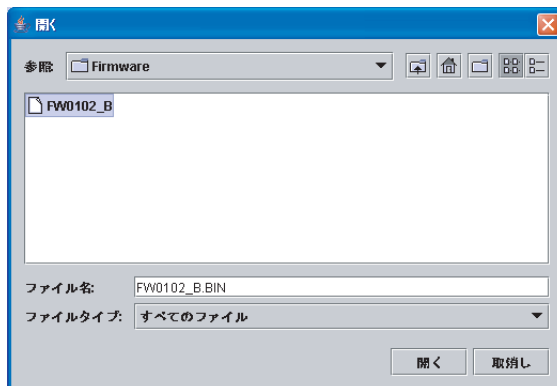
ファームウェアのファイルは、本取扱説明書と同様にソニーのホームページからダウンロードしてください。

- 1 [アップロードファイル] に、更新に使用するファームウェアのファイル名を入力する。

[参照] をクリックし、ファイルを指定することもできます。



[参照] をクリックしたときは、表示される画面でファイルを指定し、[開く] をクリックします。



2 [アップロード] をクリックする。



ファームウェアの更新には数 10 分かかります。

[セットアップ] メニュー

[セットアップ] メニューには、以下の項目があります。

- ・ 各種設定 (13 ページ)
- ・ SCSI ID 設定 (14 ページ)
- ・ パスワード設定 (15 ページ)

各種設定

本機の各種設定が行えます。

現在は、バーコードリーダーの有効 / 無効が設定できます。

- 1 バーコードリーダーを有効に設定する場合は、[バーコード有効] にチェックマークを付け、[適用] をクリックする。

バーコードリーダーを無効に設定する場合は、チェックマークを外します。

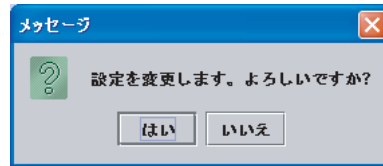


メモ

[リセット] をクリックすると、設定した内容がすべてクリアされます。

確認のメッセージが表示されます。

- 2 [はい] をクリックする。



バーコードリーダーの設定が変更されます。

SCSI ID 設定

ライブラリー、ドライブの SCSI ID を設定できます。

- 1 設定したい SCSI ID の値を入力し、[適用] をクリックする。

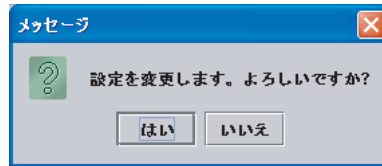


メモ

- ・ 設定できる値は 0～7 です。
- ・ 本機の [CONFIGURATION] - [SCSI-ID SET] では、0～15 まで設定できます。
- ・ 入力の途中で [リセット] をクリックすると、入力した値がすべてクリアされます。

確認のメッセージが表示されます。

- 2 [はい] をクリックする。



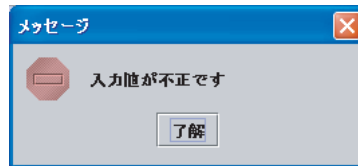
SCSI ID の設定が変更されます。

ご注意

設定した SCSI ID は、次回電源を入れたときから有効になります。
[SCSI ID 設定] の変更を行った場合は、いったん本機の電源を切ってから、再度電源を入れて再起動してください。

メモ

0～7以外の値を入力したときは、以下の画面が表示されます。[了解] をクリックし、正しい値を入力し直してください。



パスワード設定

Administration Tool のログインパスワードの変更ができます。

- 1 各項目を入力し、[適用] をクリックする。



旧パスワード

現在のパスワードを入力します。

新パスワード

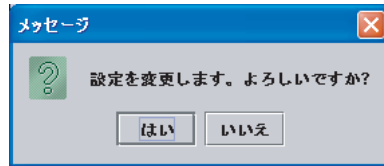
新しいパスワードを入力します。

パスワード再入力

新しいパスワードをもう一度入力します。

確認のメッセージが表示されます。

2 [はい] をクリックする。



パスワードが変更されると、設定完了のメッセージが表示されます。

3 [了解] をクリックする。

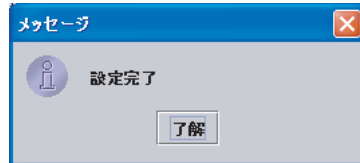


Table of Contents

Overview.....	18
Uses for the Administration Tool.....	18
Connecting to the Network.....	19
Connecting the network cable.....	19
Acquiring the unit's IP address information.....	19
Configuring a Static IP Address.....	20
Accessing the unit from a web browser.....	21
Operating the Administration Tool.....	23
[Information] Menu.....	24
Revision.....	24
Inventory.....	24
[Maintenance] Menu.....	25
Life Count.....	25
Error Count.....	25
Sensor.....	26
Error Log.....	26
Firmware.....	27
[Setup] Menu.....	28
Configuration.....	28
SCSI ID.....	29
Password.....	30

GB

© 2005 Sony Corporation. All rights reserved.

Trademarks

- Sony, Advanced Intelligent Tape, and Super Advanced Intelligent Tape are trademarks or registered trademarks of Sony Corporation in this country, other countries, or both.
- Other product names are trademarks or registered trademarks of their respective owners in this country, other countries, or both.

Overview

The S-AIT Library Administration Tool enables you, by means of a web browser, to configure settings for the unit and view library and drive information.

Note

Web browser software must be installed on your computer to view the unit's settings and information from a browser. The following operating systems and web browsers are compatible with the unit.

Operating systems:	Microsoft Windows 2000, Windows XP
Recommended browsers:	Internet Explorer 6.x
Plug-ins:	Java Runtime Environment (JRE) Java Plug-in 1.4.2 or above
Computer display resolution (recommended):	1024 × 768 pixels

Uses for the Administration Tool

The Administration Tool's [Information], [Maintenance], and [Setup] menus can perform the following tasks.

[Information] menu

- Revision: Allows you to verify the library and drive names, the firmware version, and other information.
- Inventory: Allows you to verify the presence or absence of media in the unit and the bar code information of present media.

[Maintenance] menu

- Life Count: Allows you to verify the lifespan management data (number of uses) for each mechanical part.
- Error Count: Allows you to verify the number of errors that have occurred for each mechanical part.
- Sensor: Allows you to verify the status of each sensor.
- Error Log: Allows you to verify the log data when the error occurred.
- Firmware: Allows you to upload the library firmware.

[Setup] menu

- Configuration: Allows you to enable or disable the bar code reader.
- SCSI ID: Allows you to display and change the SCSI ID settings for the library and drives.
- Password: Allows you to change the login password shared by the Administration Tool and the unit's USER mode.

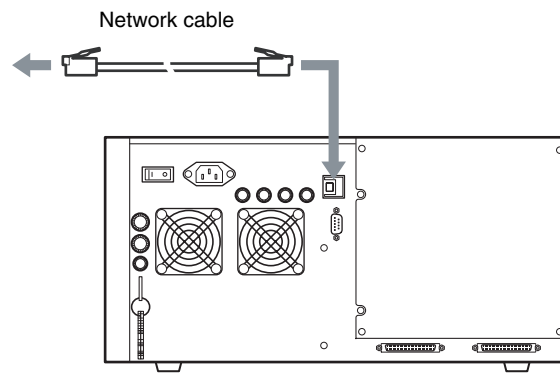
Connecting to the Network

Begin by connecting the unit to the network following the steps below.

- Connecting the network cable
- Acquiring the unit's IP address information
- Accessing the unit from a web browser

Connecting the network cable

- 1 Connect the network cable to the LAN connector on the unit and to the hub.



- 2 Turn on the power to the unit.

Acquiring the unit's IP address information

- 1 Download the Digi Connect ME[®] utility from the Digi International website.
- 2 Access the following product support URL.
<http://www.digi.com/support/>
- 3 Make the following selections under “Select Your Product”, and click “Submit”.

If you are using Windows, any version is acceptable for “Supported Operating Systems”.

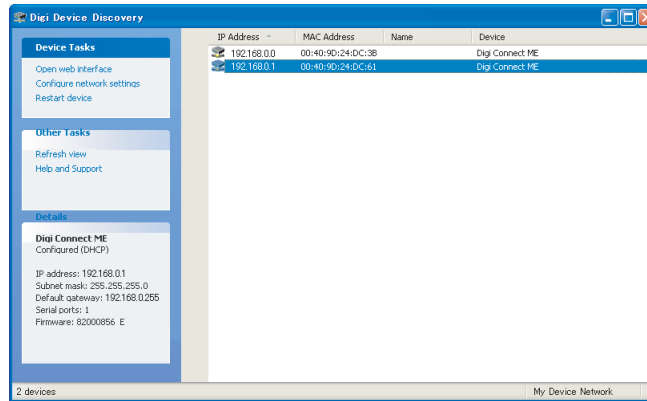
Product List: Digi Connect ME
Supported Operating Systems: Microsoft Windows XXX

- 4 When the screen changes, click “Device Discovery Utility for Windows” in “Diagnostics, Utilities and MIBs” to download “Digi Device Discovery”.

5 Run the Digi Device Discovery program.

The Digi Device Discovery program starts, and then acquires a list of hardware that is connected to the network and installed with Digi Connect ME.

When several pieces of hardware appear on the “Digi Device Discovery” screen, identify the unit by its MAC address.



6 To verify the unit’s MAC address, select [INFORMATION] - [NETWORK] in the USER mode.

The MAC address appears on the unit's LCD display.

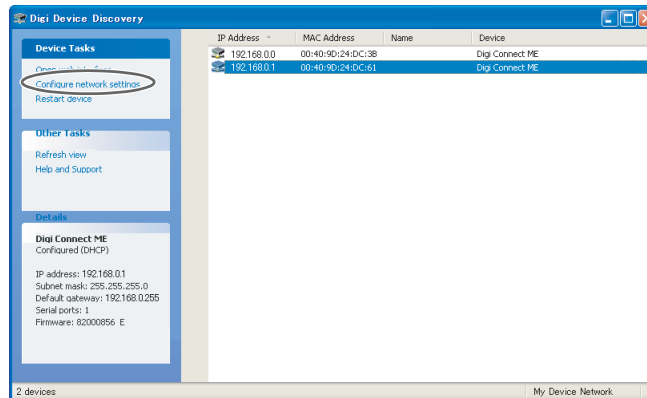
```
MAC ADDRESS  
00409024DC61
```

The IP address corresponding to the unit’s MAC address on the “Digi Device Discovery” screen is the unit's IP address.

By default, DHCP is enabled. When using a static IP address, see “Configuring a Static IP Address” (page 20).

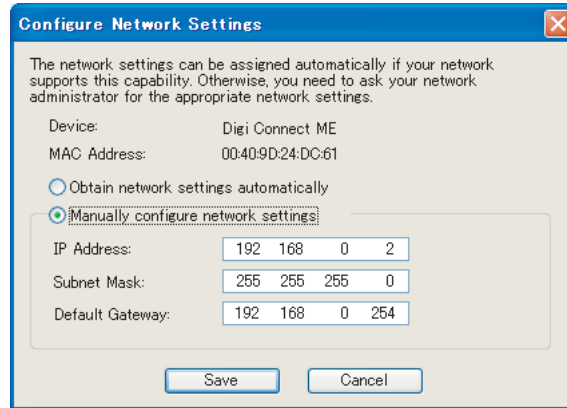
Configuring a Static IP Address

1 Select the unit on the “Digi Device Discovery” screen, and click [Configure network settings] under [Device Tasks].



The “Configure Network Settings” screen appears.

- 2 Select [Manually configure network settings], input each item, and click [Save].

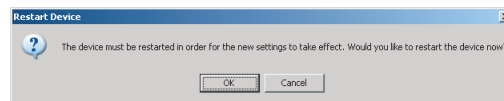


Note

To discard your changes, click [Cancel].

A confirmation message appears.

- 3 Click [OK].



Note

To discard your changes, click [Cancel].

IP address configuration is complete.

Accessing the unit from a web browser

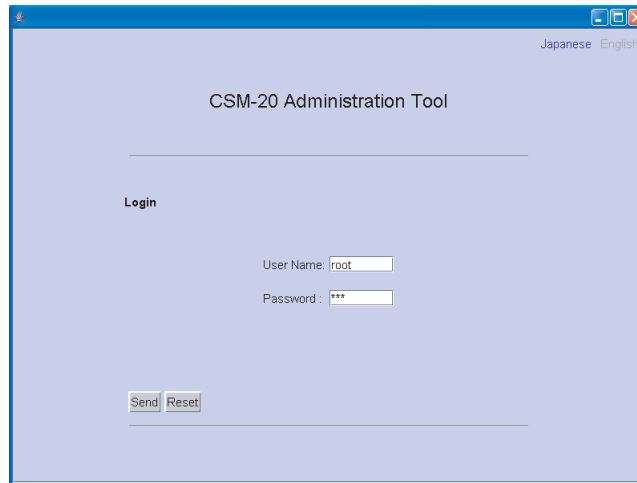
You can access the unit from a web browser and login to the Administration Tool.

- 1 In the web browser's address bar, enter "http://XXX.XXX.XXX.XXX/", replacing the Xs with the unit's IP address.

Example: http://192.168.0.1/

The login screen appears.

2 Enter the user name and password, and then click [Send].



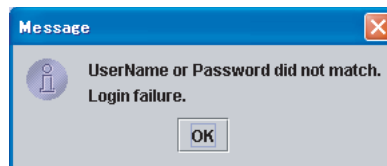
Notes

- The fixed user name is “root”. It cannot be changed.
- The password is a three-digit number.
- This password is also used as the unit’s USER mode password. If you change the password with the unit, it is simultaneously changed for the Administration Tool, and vice versa.
- For more on the default password, see the unit’s operating instructions.
- Clicking [Reset] clears all entered characters.

When the user name and password are authenticated, you are logged in to the Administration Tool.

Note

The following message appears when an incorrect password is entered. Click [OK], and then enter the correct password.



Operating the Administration Tool

After logging in to the Administration Tool, the main menu appears, as shown below.

- [Information] Menu (page 24)
- [Maintenance] Menu (page 25)
- [Setup] Menu (page 28)



Notes

- Clicking [Japanese] or [English] in the upper-right corner of any screen, switches to the specified display language.
- To return to the main menu from any screen, click [Main Menu] in the lower left corner of the screen.



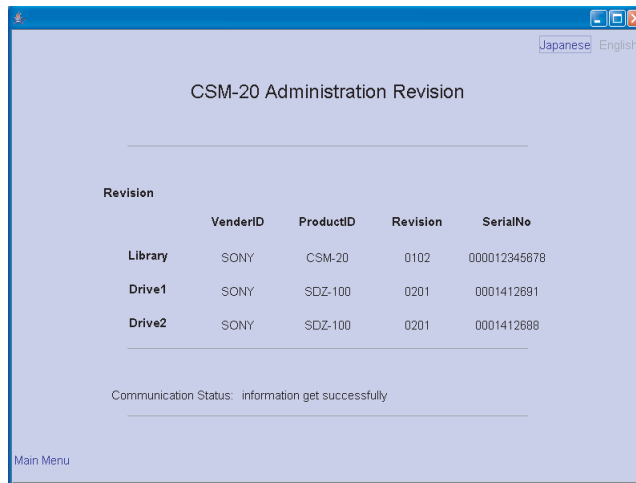
[Information] Menu

The [Information] menu contains the following options.

- Revision (page 24)
- Inventory (page 24)

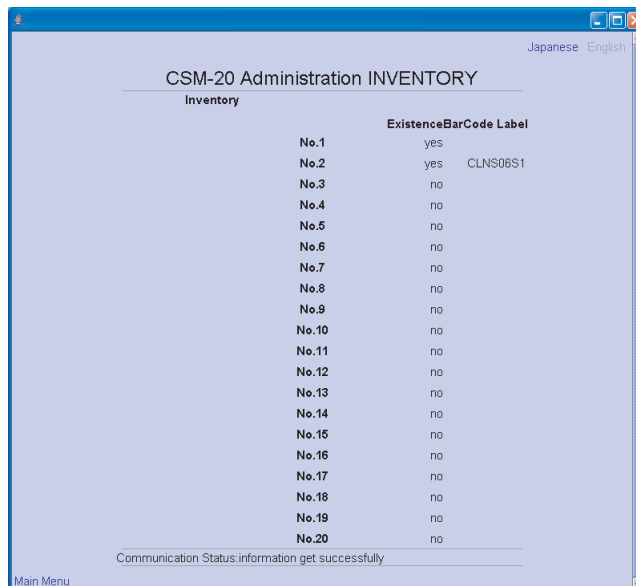
Revision

This option displays the Vendor ID, Product ID, firmware revision, and Serial number for the library and drives.



Inventory

For each slot on the unit, this option indicates the presence or absence of media and displays bar code information for present media.



[Maintenance] Menu

The [Maintenance] menu contains the following options.

- Life Count (page 25)
- Error Count (page 25)
- Sensor (page 26)
- Error Log (page 26)
- Firmware (page 27)

Life Count

This option displays the lifespan management data (number of uses) for each mechanical part.

LifeCount	Count
Slider	6666
Picker	4250
Swing	1257
MailSlot	229
Drive1	224
Drive2	175
FrontPanel	3
BarCode	10
MediaMove	1984
PowerOn	384

Communication Status: information get successfully

Error Count

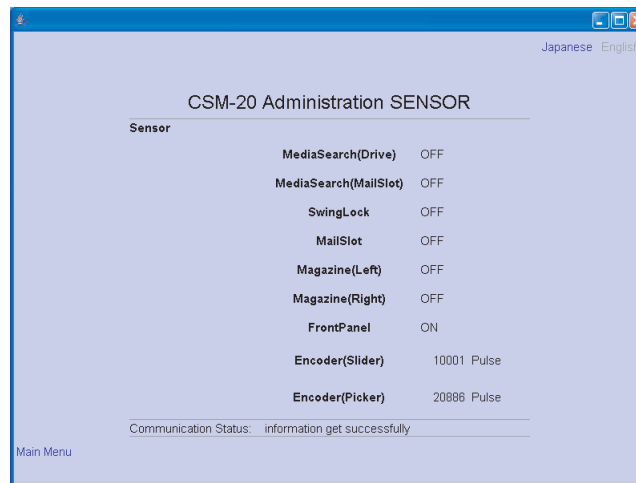
This option displays the number of errors that have occurred for each mechanical part.

Error Count	Count
Slider	5
Picker	3
Swing	0
MailSlot	0
Drive1	0
Drive2	1

Communication Status: information get successfully

Sensor

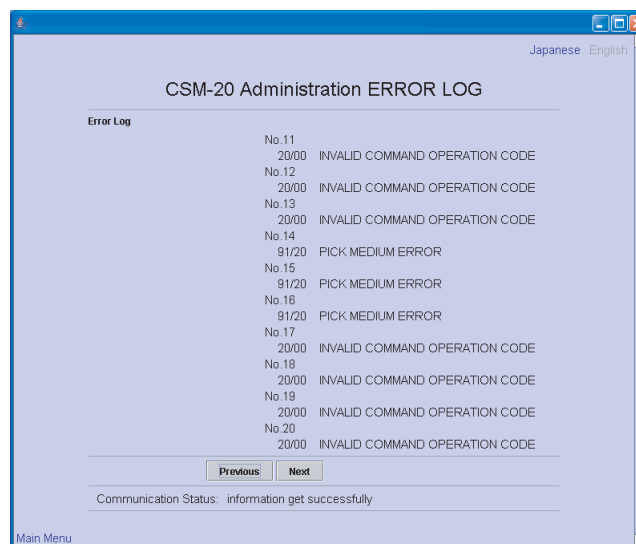
This option displays the status of each sensor.



Error Log

This option displays a log of the 100 most recent errors to occur on the unit. Each screen displays 10 errors. The error marked “No.1” is the most recent, and “No.100” is the oldest.

Click [Next] to display the next screen, and click [Previous] to return to the previous screen.



How to read the error log

No.1

AA/BB XXXX

AA: Additional Sense Code (same as the SCSI's ASC)

BB: Additional Sense Code Qualifier (same as the SCSI's ASCQ)

For more information about error codes, see the “Error Code List” under “Appendix” in the unit’s operating instructions.

Firmware

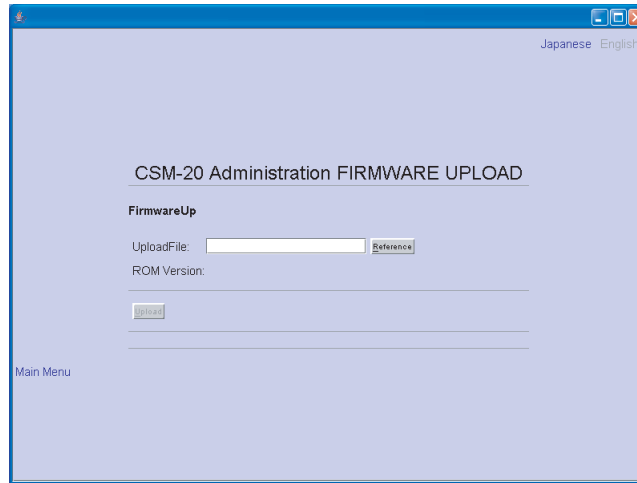
This option allows you to upload the library firmware.

Note

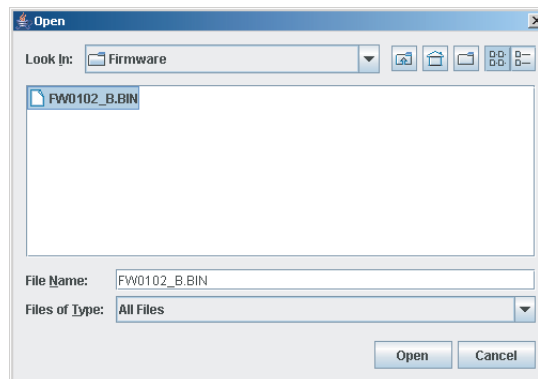
Download the firmware files, along with these operating instructions, from the Sony website.

- 1 In the [Upload File] text box, enter the name of the firmware file to use for the upload.

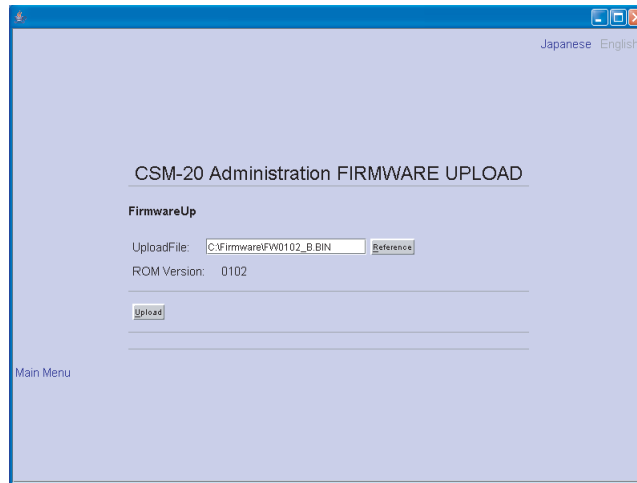
You can also click [Reference], and then specify a file.



If you clicked [Reference], select the file on the screen that appears, and click [Open].



2 Click [Upload].



The firmware upload may take several minutes.

[Setup] Menu

The [Setup] menu contains the following options.

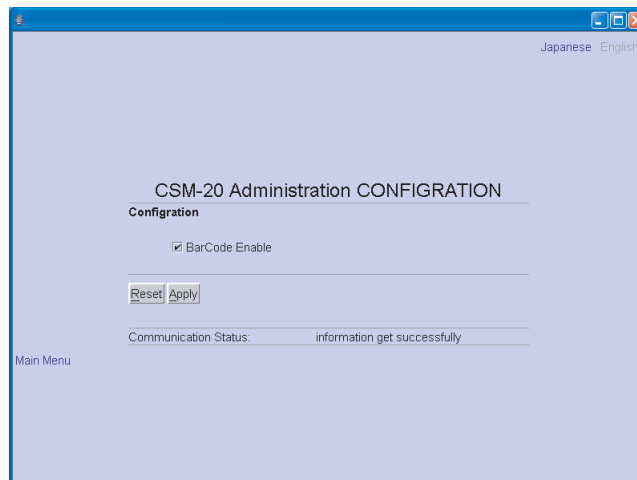
- Configuration (page 28)
- SCSI ID (page 29)
- Password (page 30)

Configuration

This option allows you to configure settings for the unit. Currently, it allows you to enable or disable the bar code reader.

1 To enable the bar code reader, select the [BarCode Enable] check box and click [Apply].

To disable the bar code reader, clear the check box and click [Apply].

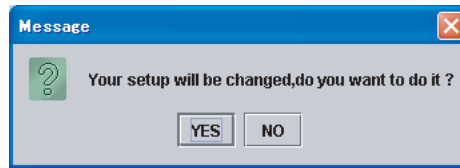


Note

Clicking [Reset] clears all changes to the settings.

A confirmation message appears.

- 2 Click [Yes].

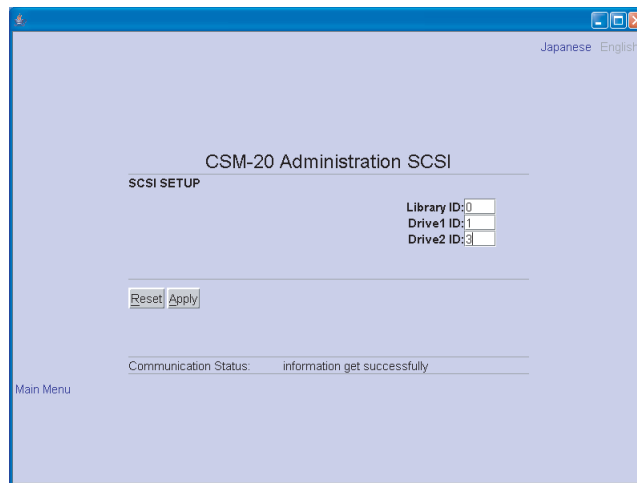


The bar code reader settings are changed.

SCSI ID

This option allows you to configure the SCSI ID for the library and drives.

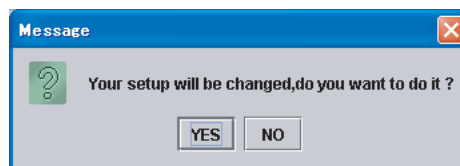
- 1 Enter the value for the SCSI ID you want to set and click [Apply].

**Notes**

- Only values from 0 to 7 can be set.
- Under [CONFIGURATION] - [SCSI-ID SET] on the unit, values from 0 to 15 can be set.
- Clicking [Reset] clears all entered characters.

A confirmation message appears.

- 2 Click [Yes].



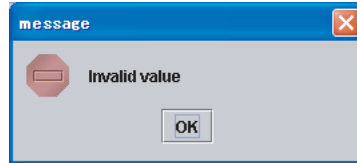
The SCSI ID settings are changed.

Note

The new SCSI ID settings become active the next time the power is turned on.
If you make changes to the settings in [SCSI ID], turn the unit power off and then on again to restart with the new settings.

Note

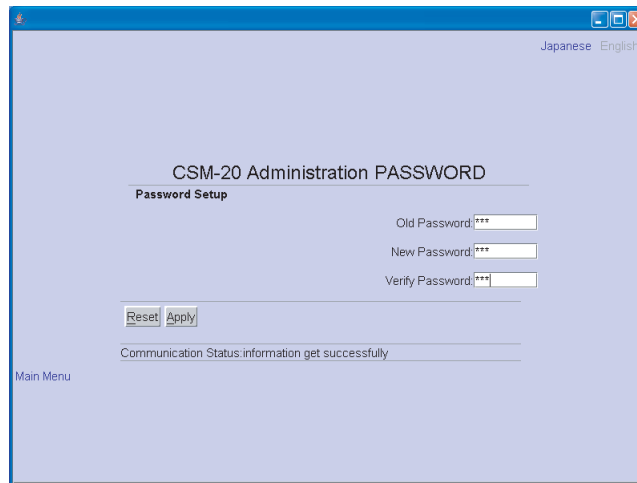
The following message appears when a value that is not from 0 to 7 is entered. Click [OK], and then enter a valid number.



Password

This option allows you to change the login password for the Administration Tool.

- 1 Enter each item, and then click [Apply].

**Old Password**

Enter your current password.

New Password

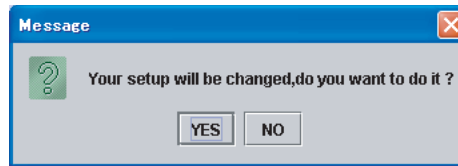
Enter the new password.

Verify Password

Enter the new password again.

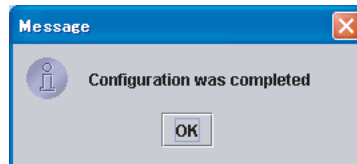
A confirmation message appears.

2 Click [Yes].



When the password has been changed, a message appears indicating that configuration is complete.

3 Click [OK].



For information about the S-AIT Library, refer to your reseller.

お問い合わせは
お買い上げの販売店までお願いいたします。

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35
Sony Corporation